

公益財団法人 北九州国際交流協会

法人の概要（平成 29 年 4 月 1 日現在）

1 所在地

北九州市八幡西区黒崎三丁目 15 番 3 号 コムシティ 3 階

2 設立年月日

平成 2 年 7 月 25 日

3 代表者

理事長 高城 壽雄

4 基本財産

300,000 千円

5 北九州市の出捐金

300,000 千円（出捐の割合 100%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	7 人	0 人	1 人	6 人
常 勤	1 人	0 人	1 人	0 人
非常勤	6 人	0 人	0 人	6 人
職 員	12 人	2 人	1 人	9 人

7 市からのミッション

外国人市民が地域住民として日本人市民と対等に活躍できる社会を実現するため、外国人市民の社会生活適応と自立を支援する。

行政と市民団体、企業、大学などとの共同をコーディネーターとして促進することにより、外国人市民と日本人市民が共生できる活力ある社会をめざした地域づくりを行う。

世界に開かれたまちづくりを進めるため、グローバル人材の発掘と育成を行う、国際的な視野と行動力を持つ若者を育てるとともに留学生等外国人高度人材への情報提供を密に行い、地域定着希望者への支援を行う。

平成 28 年度事業実績

本協会は、「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」という長期ビジョンの下、「1 外国人市民の支援」、「2 行政・民間団体連携」、「3 グローバル人材育成」の3つの分野における事業を実施した。

1 外国人市民支援事業

多言語による生活情報の提供

日本語を十分に理解できない外国人市民に対して、地域生活において必要となる情報を多言語で様々な媒体や機会を利用して提供した。

① 外国人市民への情報提供

タイムリーな情報発信として、日本語、英語、中国語、韓国語、やさしい日本語でのメールマガジンを発行した。

メールマガジン登録者数：5言語 合計：636人

② ホームページによる広報

多言語（日本語・英語・中国語・韓国語・やさしい日本語）のホームページを活用して、最新のイベント情報や生活情報、協会事業や県内の国際交流など外国人市民への情報提供を行った。

アクセス数：5言語 合計 29,112件

(2) コミュニケーション支援事業

コミュニケーションに困難を感じている外国人市民に対して、地域社会において孤立することなく、日本人と共生できるように支援を行った。また、日常生活の上で発生した悩みや課題を、専門家と協力しながら解決に向けての支援を行った。

① 外国人相談

ア 専門家相談

*入国・在留・国籍手続き相談（月1回開催）共催：福岡県行政書士会 相談件数：30件

*法律相談（月1回開催）協力：福岡県弁護士会北九州部会 相談件数：9件

*心理カウンセリング（随時開催）臨床心理士による相談 相談件数：2件

イ 外国人インフォメーションセンターにおける一般相談

外国語相談員を3名増員して外国人相談体制を強化し、八幡西区及び小倉北区の2か所において、火曜日から金曜日までの全日の日・英・中・韓4言語すべての対応と、週1日のベトナム語相談が可能となった。

相談人数：832人 相談件数：1,148件

ウ 相談員による電話通訳の実施 《新事業：2016年12月から実施》

市役所・区役所・学校等の関係機関と日本語でのコミュニケーションが難しい外国人市民との間の電話通訳サービスを開始した。

対応言語：英語・中国語・韓国語・ベトナム語 ※ベトナム語は火曜のみ

対応日時：火曜～金曜 10：00～16：00 件数：12件

エ 北九州外国人支援関係機関連絡会議の開催

外国人支援に関わる関係者の情報交換会を開催し、各立場での状況や内容について意見交換を行うことで関係機関の緊密な関係を築き、外国人の抱える課題や傾向について情報共有を行った。

開催日：10月19日（水）、2月22日（水）

会場：八幡西生涯学習総合センター 会議室

構成員：福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、教育委員会 等

② 行政通訳派遣

北九州市の委託を受けて、日本語によるコミュニケーションが困難な外国人市民のために、区役所や学校等に行政通訳者や多言語ママパパサポーターを無料で個別派遣した。

派遣件数合計：85件 派遣者数合計：105人

ア 行政通訳派遣（北九州市からの受託事業）

北九州市の組織や学校等または外国人市民からの依頼により、行政通訳者を派遣した。

派遣件数：69件 派遣者数：75人 言語：8言語

内容：子育て支援①子供関係②母関係、介護保険、老人保健福祉、区役所・市役所

イ 多言語ママパパサポーター派遣（北九州市からの受託事業）

医療機関や行政機関、子育て支援機関、外国人住宅等に「多言語ママパパサポーター」として通訳者を派遣した。

派遣件数：11件 派遣者数：18人 言語：6言語

内容：病院、子育て支援機関

ウ 受託外派遣

市からの受託以外に、協会事業等に行政通訳者を派遣した。

派遣件数：5件 派遣者数：12人

内容：中国帰国者事業、多文化共生の地域づくりの担い手の育成・支援事業等

③ 医療通訳派遣

日本語でのコミュニケーションが難しい外国人市民が安心して医療機関を受診できるように、医療通訳者を医療機関等へ派遣した。11月には、個人病院やクリニックでも利用が可能な登録制度を開始し、外国人市民にもかかりつけ医に行く初診の段階からの対応が可能となった。また、制度周知を図るため無料お試しキャンペーンを実施した。

派遣件数：23件 派遣人数：22人

言語：中国語13人、英語6人、韓国語3人

診療科：外科7件、精神科5件、産婦人科4件、内科2件 他5件

④ 外国人市民への防災支援

ア 外国人市民対象の防災講習会

日本語でのコミュニケーションが難しく、災害に関する知識や経験がない市内在住外国人市民を対象に、災害や緊急時の対策について基本的な知識を学ぶ講習会を実施した。

*第1回 開催日：11月17日（木） 場所：コムシティ7F（子どもの館 会議室）

内容：講義「災害の種類とメカニズム」「避難方法と防災対策グッズ」

実践「119番通報練習（日本語での救急車、消防車の要請練習）」等

講師：八幡西消防署予防課 参加者数：15人（7ヶ国）

*第2回 開催日：11月18日（金）

場所：こくらAIMビル3F（子育てふれあい交流プラザ）

内容：講義「避難方法」実践「119番通報練習」「消火器の使い方」

協力：小倉北消防署予防課 参加者数：8人（4ヶ国）

*第3回 開催日：3月4日（土） 場所：福岡市民防災センター

内容：災害時疑似体験 参加者数：34人（7ヶ国）

イ 災害時通訳サポーターのフォローアップ

日本語によるコミュニケーションが難しい外国人に対し災害時に文化や習慣の違いを

踏まえ、通訳あるいは翻訳等の言葉の支援を行う通訳者を対象に研修を行った。

開催場所：八幡西生涯学習総合センター 会議室

* 第1回 開催日：11月19日（土） 参加者数：15人（英語、中国語、韓国語）

講師：北九州市立精神保健福祉センター 職員2名（保健師、臨床心理士）

内容：「災害時のこころのケア」避難所での逐次通訳ロールプレイ、意見交換

* 第2回 開催日：2月25日（土） 参加者数：25人（英語、中国語、韓国語）

講師：一般財団法人熊本市国際交流財団 事務局長 八木浩光

内容：「熊本地震の外国人支援を振り返って」災害情報翻訳練習

ウ 防災に関する啓発ツールの配布

多言語による緊急時の連絡先や発信される言葉についての啓発ツールを配布した。

外国人子ども支援

外国につながるのある児童生徒を対象に、学習支援の場として「放課後にほんごひろば」及び「夏休みにほんごひろば」を実施した。

ア 放課後にほんごひろば

外国につながるのある児童生徒を対象に、教科学習や宿題のサポートを行う教室を大学生ボランティアとともに市内2ヶ所で実施した。

【小倉】開催場所：小倉中央市民センター

開催期間：5月～3月 毎週火曜日 16:00～18:30

開催回数：36回 学習者のべ人数：138人（5ヶ国）

【八幡】開催場所：北九州市立医生丘市民センター

開催期間：5月～3月 毎週水曜日 16:00～17:30

開催回数：35回 学習者のべ人数：103人（1ヶ国）

イ 夏休みにほんごひろば

夏休み期間中に集中して苦手な教科を勉強したいという外国人児童生徒を対象に学習支援教室を実施した。

開催場所：北九州市立医生丘市民センター 学習者のべ人数：19人（1ヶ国）

開催期間：7月27日（水）～8月19日（金） 計4回 10:00～12:00

ウ 中学卒業年齢以上の青少年のための日本語学習支援 新事業

中学卒業年齢以上で来日し、小中学校における教育委員会の外国人児童・生徒に対する支援が受けられない青少年に対し、高校進学や就業を目指すエンパワメント事業として、集中的に学習できる日本語学習支援教室を実施した。

開催場所：北九州市立小倉中央市民センター

開催期間：9月～3月 毎週火曜日 10:00～15:00

開催回数：25回 学習者のべ人数：52人（1ヶ国）

生活者としての日本語学習支援

ア ママとパパのためのほんご教室（生活日本語コース）

主に子育て中の外国人住民を対象に、生活に必要な日本語や生活情報を提供する場として市内2ヶ所で教室を実施した。また、日本語学習のほか、各団体の連携を得て両教室で

防災や公共交通機関の利用方法等随時生活情報の授業を行った。

【黒崎】開催場所：北九州市立子どもの館

開催期間：4月14日～3月16日、毎週木曜日 10：30～12：00

開催回数：43回 参加者数：のべ418人（8ヶ国）

【小倉】開催場所：北九州市立子育てふれあい交流プラザ

開催期間：4月15日～3月17日、毎週金曜日 10：30～12：00

開催回数：42回 参加者数：のべ276人（11ヶ国）

イ ママとパパのためのにほんご教室（ゼロビギナークラス） 《新事業》

上記アのうち、全く日本語に触れたことがなく他の学習者と一緒に学習することが困難な学習者に、一定期間の個別対応で基本的なひらがなやカタカナ等を習得する（ゼロビギナークラス）を随時実施した。

ウ 生活者としての外国人を対象とした「日本語おしゃべり発表会」の開催

外国人住民が、年齢、在留資格、日本語レベル等を問わずに参加できる発表会を開催した。出場者は、日本語学習のモチベーションに繋がるとともに、日本人住民には、地域に住む外国人の声を聞く機会とした。

企画・運営にあたっては、有志や市民参加による実行委員会を立ち上げ、広く発表者を募り、市民の観覧を呼びかけ、国際理解と多文化共生啓発を図った。

開催日：1月29日（日）14：00～17：30

開催場所：北九州市立子どもの館 子どもホール 発表者数：30人（10ヶ国）

来場者数：250人 実行委員数：16人（実行委員会 全5回）

⑦ 地域日本語教室との連携

地域の日本語教室を支援するため、市内日本語教室リストを作成し区役所等で配布するとともに、協会のホームページでの情報提供を行った。また、今後の支援に向け、日本語コーディネーターが市内の地域日本語教室を訪問して運営視察及びヒアリングを実施した。

⑧ 外国人日本語学習者へのエンパワメント支援

ア ママとパパのためのにほんご教室（日本語集中コース） 《新事業》

今年度から、より集中して日本語レベルの向上のための学習を希望する外国人のために、就業や社会参画に繋げるためのエンパワメント支援の一環として、語彙・文法等日本語能力の向上に特化した日本語集中コースを立ち上げ支援を強化した。

【黒崎】開催場所：北九州市立子どもの館

開催期間：5月26日～3月16日、毎週木曜日 13：00～14：30

開催回数：38回（4シリーズ） 参加者数：のべ79人（4ヶ国）

【小倉】開催場所：北九州市立子育てふれあい交流プラザ

開催期間：5月20日～3月17日、毎週金曜日 13：00～14：30

開催回数：39回（4シリーズ） 参加者数：のべ248人（5ヶ国）

⑨ 中国帰国者の交流支援（北九州市からの受託事業）

北九州市の委託を受け、中国帰国者が地域社会で孤立することなく、社会的自立がなされるように、日本語会話教室や交流会等を開催した。

ア 日本語会話教室「中国帰国者のための日本語おしゃべり広場」

開催日時：隔週 1 回程度 金曜日 10：00～12：00

開催回数：20 回 出席者のべ数：60 人

イ 交流会 ＊第 1 回 研修バスツアー 開催日：12 月 7 日（水）

内 容：アサヒビール博多工場見学他 参加者数：11 人

＊第 2 回 春節交流会 開催日：2 月 11 日（土）

内 容：春節料理づくり（餃子等）及び交流会 参加者数：24 人

場 所：八幡東生涯学習総合センター 会議室及び調理室

2 行政・民間団体連携事業

(1) 民間団体の支援・連携推進事業

北九州市が進める国際施策の一翼を担うことができるよう、北九州地域の国際交流団体の活動の支援を行った。

① 北九州国際交流団体ネットワーク（キーネット）支援

北九州地域の国際交流団体ネットワーク組織であるキーネットの加盟団体相互の情報交換等の活動を支援した。（63 団体）

② 民間団体の活動支援

本市の国際化及び多文化共生に貢献している民間団体の活動が、広く世間に評価されるように表彰事業に民間団体を推薦した。また、民間団体と連携・協働するとともに、民間団体が開催する事業の共催や後援、当協会が配信するメールマガジンに情報提供し広報支援等を行った。

表彰推薦：8 件（うち受賞 4 件） 共 催：7 件 後 援：21 件

③ 地域日本語教室との連携（再掲）

(2) 行政との連携推進事業

① 行政通訳派遣（再掲）

② 外国人市民への防災支援（再掲）

③ 中国帰国者の交流支援（再掲）

④ 多文化共生の人材づくり（3-（5）-②に掲載）

3 グローバル人材育成事業

(1) 国際理解教育の推進事業

異なるものを理解・尊重する社会的な土壌をつくるために、市民を対象にした国際理解教育を推進した。

① 国際理解教育講師の派遣・紹介（福岡県・福岡市協働事業）

異文化理解に関心を持つ市民を対象に、世界の文化や習慣を体験的に学んでもらうため、小・中・高等学校や市民センター等へ外国人市民などを国際理解教育の講師として派遣する事業を福岡県、福岡市、北九州市の 3 協会の協働事業として実施した。

派 遣 先：北九州市内の小・中学校 16 校、その他 5 件 派遣講師数：41 人

国際交流員派遣

国際交流員が講師となり、市民センターや学校等で、自国の生活や文化などを紹介することにより市民の異文化理解を促進した。 派遣件数：15 件

上記国際交流員派遣の他、協会職員等を講師として派遣した。 派遣件数： 6 件

国際理解教育の推進

異文化理解を推進する事業を実施した。

ア 「英語で語る自分の国」

海外出身者が自国の文化を紹介することで、海外の文化を生々の声で聴き身近に感じてもらえる機会と、グローバル化する現代に必要なとされる英語に親しむ機会を提供した。

開催日：5月14日(アイルランド)、7月16日(ロシア)、9月24日(ベトナム)、
11月12日(英国とEU)、2月19日(イタリア)、3月5日(カナダ)

開催回数：6回 参加者数：のべ361人

イ 気ままにセミナー(主催：八幡西生涯学習総合センター)

講師として、協会職員その他、ママパパ日本語教室受講者、ALT・国際交流員等が参加し、外国人のエンパワメント支援の研修会も目的として実施した。

【はじめての国際交流】

開催日：9月3日(土)・10月8日(土) 全2回 参加登録者：21人

テーマ：第1回「あなたの言葉、外国人に通じますか？」

第2回「通訳トレーニング法から学ぶ！」

【地図の上で旅してみよう】

開催日：10月29日(土)～12月17日(土) 全5回 参加登録者：20人

テーマ：第1回「ベトナム」 第2回「フィリピン」 第3回「インドネシア」

第4回「イギリス南部」 第5回「イギリス北部」

ウ インターンシップの受入れ

北九州市立大学、西南女学院大学、八幡特別支援学校、北九州商工会議所主催(九州国際大学、九州女子大学、西南女学院大学、北九州市立大学) 計5回/11人

ホストファミリーの支援及び連携

国際交流や異文化体験を希望する家庭にホストファミリーボランティアとして登録してもらい、ホームビジットの実施や留学生と交流する機会の提供を行った。また、ホストファミリー同士の意見交換会やホストファミリー向けの異文化理解講座を実施し、情報交換やフォローアップを行った。

留学生にこにこ家族・ホームビジット

ア ホームビジット

JICA研修員を家庭に招き、交流を通じて相互理解と親睦を深めた。

実施日：10月 2日 参加外国人：2人 受入家庭：2家庭

イ 留学生にこにこ家族

市内大学に通う留学生とホストファミリーとの半年、または1年にわたる交流を支援した。また、留学生やホストファミリー同士の交流を深める交流会やバスツアーを実施した。

参加留学生数：のべ73人 受入家庭：のべ59家庭

対面式：春期 6月4日（土）・5日（日） 秋期 11月19日（土）・27日（日）

*春の交流会 開催日：6月25日（日） フルーツ大福作り
参加留学生数：6人 参加ホストファミリー数：3家族（7人）

*バスツアー交流会 開催日：1月15日（日） 目的地：柳川こたつ舟下りと散策
参加学生数：24人 参加ホストファミリー数：15家族（29人）

ウ ホストファミリー意見交換会

プログラムに参加している家庭同士の情報交換や交流を深めるために意見交換会を実施した。 開催場所：北九州国際交流協会 交流スペース

春季 開催日：6月4日（土）・5日（日） 参加者数：19家庭（35人）

秋季 開催日：11月19日（土）・27日（日） 参加者数：24家庭（42人）

エ 異文化理解講座

ホストファミリーだけでなく広く一般にも参加者を募集し、インドネシアの紹介やイスラム教についてやイスラム教の食事制限やハラールフードに対応する料理の紹介などを行った。

「異文化理解講座～イスラムを知ろう～」

開催日：3月25日（土） 開催場所：北九州国際交流協会 交流スペース

講師：ディディット・ノヴィアント、ディアン・ノヴィアント、ハディ

参加者数：21名（うちホストファミリー4家庭）

(3) 留学生等の支援

① 留学生への情報提供

新しく北九州市に転入してきた留学生に対して、大学のオリエンテーション等で生活に必要な情報や協会の外国人支援情報等を提供した。

② 留学生支援

ア 中古自転車の提供

北九州市建設局から提供を受けた中古自転車を修理再生後、各大学・専門学校の留学生担当課を通じて希望留学生に提供した。

提供台数：34台

イ 映画料金の割引

留学生は、北九州市内の映画館の窓口で学生証と在留カードを提示すれば、大学生料金1,500円が1,100円になる割引制度を映画興行組合の協力により継続実施した。

③ 関原北九州大連友好基金事業

北九州市と大連市との友好交流に熱い情熱を燃やし、交流の発展を願い続けた故関原一夫・貞子ご夫妻のご遺志により、関原北九州大連友好基金が設立された。ご夫妻のご遺志に添い、大連市との幅広い交流に生かすため、特に若者の将来に期待し、下記の事業を行った。

ア 大連市留学生奨学金支給

大連市出身若しくは大連市内の大学及び専門学校を卒業した人で、北九州市内の大学、短大等に留学している3人に、月額2万円を支給した。

イ 大連市大学生奨学金支給

大連市内の大学の日本語学科に在学中の中国人学生で、日本語を学び、且つ優秀な学力を有する者3人に、月額500円を支給した。

④ 留学生日本語弁論大会

母国を離れ日本で暮らす留学生たちが、日本での様々な体験を通じて感じたこと、考えていることを日本語で発表する場を提供した。日本人にとっても留学生の声に耳を傾けることで様々な価値観や日本の姿を見直すきっかけとなるよう、また、留学生の日本語の上達に資することから、将来、国境を越えた国際交流への一助とすべく本大会を開催した。開催にあたり、八幡法人会、北九州小倉ライオンズクラブ、NPO 法人北九州市国際文化交流協会の協力を得て実施した。

開催日：12月18日（日）

発表者：10名（中国3名、韓国2名、ベトナム2名 他3名） 来場者：123名

(4) 青少年交流の促進事業

市内の青少年が、将来グローバルに活躍できる人材となれるように、海外の青少年との相互交流を促進した。

① 仁川市との青少年相互派遣

青少年の育成のみならず、姉妹都市である仁川市との交流をより一層深めることを目的に、青少年を相互に派遣する事業を仁川国際交流財団と協働で実施した。本年度は、北九州市の青少年（高校生）が仁川市を訪問し、ホームステイ、伝統文化体験等の交流活動を行った。

開催期間：8月4日（木）～7日（日） 参加者数：北九州市青少年 10人

(5) 多文化共生啓発事業

地域における多文化共生を推進するため、市民に対して多文化共生の地域づくりについて啓発を行った。

① 多文化共生啓発

学習会やイベントを通じて多文化共生へ啓発や理解を深める事業を実施した。

ア 「多文化共生わいわい祭り」への出展、事業協力

開催日：11月3日（祝） 会場：北九州YMCA（小倉北区）

主催：多文化共生わいわい祭り実行委員会（北九州市、(公財)北九州YMCA、キーネット、(公財)北九州国際交流協会）

内容：多文化共生PR、世界の民族衣装体験 来場者数：264人（協会ブースのみ）

イ 「八幡イルミネーション点灯式」

八幡・国際通りを中心とする国際村交流会の構成団体等が実施する「八幡イルミネーション点灯式」に、キーネット団体から出店を行うとともに、会場で協会事業のPRを行った。

開催日：11月11日（金） 会場：JICA九州 体育館

ウ 「市民ふれあいフェスティバル」への出展、事業協力

開催日：11月20日（日） 会場：ウェルとばた（戸畑区）

主催：市民ふれあいフェスティバル実行委員会、北九州市社会福祉協議会

内容：協会事業やキーネットおよびキーネット加盟団体のパネル展示や出店を行った。

来場者数：510人（協会ブースのみ）

エ 市民カレッジ「もっと身近に！国際交流とボランティア」

生涯学習総合センター事業の1コースのコーディネートを担当した。

開催日：全5回 1月7日（土）～2月18日（土）

会場：八幡西生涯学習総合センター 会議室 受講登録者数：23人

内容：第1回 多文化共生ってなんだろう？&外国人インフォメーションセンターで働く人の声を聞いてみよう！

第2回 国際交流員から英国の紹介と多文化共生の話聞いてみよう！

第3回 「通訳ボランティア」「留学生ホストファミリーボランティア」から話を聞いてみよう！

第4回 JICA青年海外協力隊OB・OGから話を聞いてみよう！

第5回 日本語コーディネーター、日本語ボランティアの話聞いてみよう！

多文化共生の人材づくり（八幡西生涯学習総合センターからの受託事業）

八幡西生涯学習総合センターの委託を受け、ひとみらいプレイス関係団体と連携を図りながら、地域で暮らす日本人と外国人とが互いの違いを理解し双方の文化に触れながら、将来の多文化共生を担う人材育成を目指した事業を実施した。

ア キーネットパネル展

「北九州国際交流団体ネットワーク」加盟団体のうち、希望する団体に活動内容を紹介するパネルを作成してもらい展示した。開催期間：10月19日～11月15日

場所：ひとみらいプレイス通路 参加団体：20団体

イ 英語で語る自分の国「英国とEU」

ひとみらい交流ウィークに合わせ、北九州国際交流協会で活躍する国際交流員によるスピーチイベントを開催した。

開催日：11月12日（土） 参加者：68人

ウ 国際交流まつり～世界のママの味～

ママパパ日本語教室参加者等の社会的な自立を支援し、かつ外国の文化について食を通じて理解してもらうためのイベントを「ひとみらい交流祭」期間中に実施した。

開催日：11月13日（日） 来場者：560人

出品国：6カ国（フィリピン、インドネシア、タイ、ベトナム、中国、韓国）

エ 英語で語る自分の国「英国」 中学生・高校生対象

中・高生が英語に親しみ、英語を通じて外国文化に触れる機会を提供した。英国の子どもが興味を持つ文化等を中心に、解かりやすい英語で国際交流員がスピーチを行った。

開催日：1月8日（日） 参加者：11人

オ 「英語で楽しもう」

国際交流員やALTが講師となり、英語に親しみ交流する小学生対象の講座を開催した。

*第1回 英語でゲーム 開催日：3月4日（土） 参加者：30人（保護者13人含む）

*第2回 ソング&ダンス 開催日：3月11日（土） 参加者：37人（保護者16人含む）

市民ボランティアの育成

協会に登録したボランティアやグループの活動を支援し、その育成を図った。

- ① 協会ボランティア（登録数は2017年3月31日現在）
- ア 行政通訳ボランティア（登録：102人、12言語）
区役所や学校、保健師訪問等、市の機関等での通訳を行う。
 - イ 医療通訳スタッフ（登録：44人、3言語）
医療機関などでの通訳を行う。
 - ウ 多言語ママパパサポーター（登録：22人、3言語）
子育て関連支援のため医療機関や行政機関、子育て支援機関、外国人住民宅等での通訳を行う。
 - エ 災害時通訳サポーター（登録64人、11言語）
災害時、北九州市から依頼があった場合、災害対応業務の通訳や翻訳を行う。
 - オ 専門家相談通訳ボランティア（登録：5人）
専門家相談会での通訳を行う。
 - カ 中国帰国者交流支援ボランティア（登録：8人）
中国帰国者との交流会や支援事業の運営補助や通訳を行う。
 - キ ホストファミリーボランティア（登録：110家庭）
留学生やJICAの研修員などを自宅に招いたり、一緒に外出するなどの交流を行う。
 - ク にほんごひろばボランティア（登録1人）
外国人子ども支援事業で外国人児童生徒及び帰国児童生徒に対して学習サポートを行う大学生ボランティア。
- ② ボランティア育成講座の実施
- ア 行政通訳者スキルアップ研修
開催日：7月16日（土） 会場：八幡西生涯学習総合センター会議室
講師：北九州市立療育センター地域連携室長 横田信也氏、協会職員
内容：「北九州市における障害児の療育・教育・福祉支援について」
「傾聴の技術、模擬通訳練習」 受講者：21人
 - イ 多言語ママパパサポータースキルアップ講座
会場：八幡西生涯学習総合センター会議室
*第1回 開催日：10月1日（土）
講師：産業医科大学病院看護師 一枝あゆみ氏
内容：「身体組織と病気の基礎」 受講者：17人
*第2回 開催日：3月25日（土） 受講者：18人
講師：多文化共生センターきょうと 重野亜久里氏、高嶋愛里氏
内容：「妊娠、出産、育児における社会制度と通訳支援」
 - ウ 地域日本語教室ボランティアスキルアップ教室
開催日：7月9日（土）、11月21日（月） 受講者：のべ40人
講師：長崎外語大学特任講師 神吉宇一氏
国立国語研究所日本語教育研究領域准教授 野田尚史氏

エ 災害時通訳サポーターのフォローアップ（再掲）

オ 専門家通訳フォローアップ研修

開催日：6月 4日（土）

受講者：11人（相談員等を含む）

(7) 外国人による地域づくり担い手育成事業 《新事業》

多文化共生の担い手となる外国人市民人材を発掘、育成するため地域連携コーディネーターを置き、外国人市民同士の共助支援や地域において活躍できる人材育成のプランづくりを行うためのヒアリングや交流会等を実施した。また、様々な団体と協働して、ヒアリング等を通じて発掘した外国人人材のための研修会や派遣学習会を実施した。

① 多文化子育て共助プロジェクト（自治体国際化協会助成事業）

就労や子育てを経験した外国人市民によるニューカマーの外国人支援を目的に、行政やモデルケースとなる支援機関、団体へのヒアリングや視察、子育てを経験した外国人市民への聞き取り、座談会の実施等を通じて、共助を進めるキーパーソンを発掘し、その活躍の枠組みを整備するための調査を実施した。

ア ヒアリング調査

日頃から外国人支援に携わっている日本人や、子育て経験者や子育て中の外国人市民を中心にヒアリングを行い、キーパーソンを発掘や外国人コミュニティの情報収集を行った。

外国人支援者・・・6人、子育て経験者（子育て中含む）の外国人・・・32人（13ヶ国）

イ 多文化子育て座談会（子育て経験者・子育て中のお母さんたちの座談会）

ヒアリングをもとに、日本での出産や子育てを経験した外国人ママ達の中から多文化子育ての鍵となるキーパーソンをアジア地域を中心に選び、各区の保健師や多文化共生マネージャーをオブザーバーとして、自由に意見交換してもらう座談会を開催した。

開催日：12月17日（土）、2月4日（土） 参加者：13名 7カ国

会 場：子育てふれあい交流プラザ わらべホール

オブザーバー：保健師2名、多文化共生マネージャー1名

ウ 日本人と外国人の子育て交流会

未就学児を持つ日本人と外国人の親子が集まり、親子でクリスマスブーツ作り、リトミックプログラム、日本語と英語の絵本の読み聞かせ等を楽しんだ。次に、子ども達が民族衣装の記念撮影やアニメ上映等を楽しんでいる間に、親同士の情報交換を行った。

開催日：12月17日（土）

参加者：97名 外国人親子：16家族 7カ国 日本人親子：8家族

エ 「外国人のママ・パパと支援者のための子育て支援ブック」の作成

ヒアリングから浮かび上がった様々な悩みや不安、困った出来事などの具体的エピソード等を参考にし、「妊娠・出産・育児」に関わる外国人当事者、家族、子育て支援者が必要とする情報を提供する冊子を多言語標記で作成した。

外国人当事者が妊娠直後から必要となる行政手続き等を分かりやすく標記したチャート、日本語・英語・中国語・ベトナム語・タイ語で表記した。

仕 様：A4版、カラー、60ページ 作成部数：1,000部

内 容：多文化子育て外国人紹介、子育て情報、「困った」「悩んだ」事例集 他

多文化共生の担い手のための研修会

調査や各方面との連携から人選した、多文化共生キーパーソンや外国人市民人材に対し、それぞれの個性を活かして社会参画するための研修を実施した。

ア 八幡西生涯学習総合センター 2回 13人 イ 多文化子育て座談会 2回 13人
ウ 多文化子育て交流会 1回 41人 合計：5回 67人

多文化共生の担い手派遣学習会

コミュニケーション能力や個人の持つスキルが、日本人市民に対する多文化共生啓発に十分生かせると思われる外国人人材を講座やイベント等に派遣するトライアル事業を実施した。

ア 西部障害者福祉会館講座 1回 1人 イ 八幡西生涯学習総合センター 6回 19人
ウ 国際交流まつり～世界のママの味～ 1回 13人
エ 多文化子育て交流会 1回 8人 オ 戸畑区役所 1回 5名
合計：10回 46人

4 その他

広報活動

市政だより

北九州市が月2回発行する市公報「市政だより」に、協会が実施する事業やイベント情報等を掲載し、協会のPRに努めた。 掲載件数：72件

テレビ・ラジオ・新聞・情報誌による報道

テレビ・ラジオ・新聞等から事業に関する取材を受け広報を行った。

合計：24件（ テレビ：6件、ラジオ：4件、新聞：11件、情報誌：3件）

「北九州国際交流協会だより」の発行

年2回、賛助会員に送付するとともに、随時改訂を行って協会の事業をPRした。

九州地区国際化協会連絡協議会協定による熊本地震への職員派遣

熊本県国際交流協会並びに熊本市国際交流財団の要請により職員を派遣し、避難所における外国人調査、情報収集と多言語化、避難所運営業務等にあたった。

4月21日～24日（4日間）：1名 5月5日～6日（2日間）：2名

災害義援金等

キーネットと連携して募金箱を設置し、日本赤十字社を通じて、現地での救護、復興活動を支援することとした。

【熊本地震災害救援金】

設置期間：平成28年4月20日～平成29年3月31日 81,186円

平成28年度決算

1 貸借対照表(総括表)

平成 29 年 3 月 31 日現在 (単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金 預 金	19,633,801	18,110,325	1,523,476
未 収 金	2,871,266	2,965,744	94,478
流 動 資 産 合 計	22,505,067	21,076,069	1,428,998
2. 固 定 資 産			
基 本 財 産			
投 資 有 価 証 券	300,000,000	299,637,500	362,500
定 期 預 金	0	362,500	362,500
基 本 財 産 合 計	300,000,000	300,000,000	0
特 定 資 産			
留 学 生 等 支 援 資 金 積 立 資 産	52,126,862	52,196,504	69,642
特 定 資 産 合 計	52,126,862	52,196,504	69,642
そ の 他 固 定 資 産			
車 両 運 搬 具	11,210	246,508	235,298
什 器 備 品	611,017	798,694	187,677
リ サ イ ク ル 預 託 金	8,830	8,830	0
投 資 有 価 証 券	6,356,990	808,807	5,548,183
長 期 性 預 金	548,000	648,000	100,000
ソ フ ト ウ ェ ア	0	502,740	502,740
そ の 他 固 定 資 産 合 計	7,536,047	3,013,579	4,522,468
固 定 資 産 合 計	359,662,909	355,210,083	4,452,826
資 産 合 計	382,167,976	376,286,152	5,881,824
負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金	5,475,314	3,426,963	2,048,351
前 受 金	228,000	286,000	58,000
預 り 金	611,646	458,403	153,243
未 払 消 費 税 等	0	1,086,000	1,086,000
流 動 負 債 合 計	6,314,960	5,257,366	1,057,594
負 債 合 計	6,314,960	5,257,366	1,057,594
正 味 財 産 の 部			
1. 指 定 正 味 財 産			
寄 附 金	152,126,862	152,196,504	69,642
指 定 正 味 財 産 合 計	152,126,862	152,196,504	69,642
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(52,126,862)	(52,196,504)	(69,642)
2. 一 般 正 味 財 産	223,726,154	218,832,282	4,893,872
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正 味 財 産 合 計	375,853,016	371,028,786	4,824,230
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	382,167,976	376,286,152	5,881,824

2 正味財産増減計算書（総括表）

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[3,602,567]	[6,059,368]	[▲ 2,456,801]
基本財産受取利息	3,602,567	6,059,368	▲ 2,456,801
特定資産運用益	[900,547]	[900,566]	[▲ 19]
特定資産受取利息	900,547	900,566	▲ 19
受取会費	[607,000]	[601,000]	[6,000]
受取賛助会費	607,000	601,000	6,000
事業収益	[2,871,266]	[4,967,464]	[▲ 2,096,198]
医療通訳派遣事業収益	0	10,800	▲ 10,800
中国帰国者支援受託事業収益	1,237,399	2,137,687	▲ 900,288
コミュニティ通訳等派遣業務受託事業収益	809,352	783,846	25,506
外国人市民の防災支援受託事業収益	338,515	383,745	▲ 45,230
多文化共生の担い手づくり事業収益	486,000	451,386	34,614
多言語ママパサपोर्ट受託事業収益	0	1,200,000	▲ 1,200,000
受取補助金等	[65,038,222]	[49,776,280]	[15,261,942]
受取北九州市補助金	62,636,129	49,441,000	13,195,129
受取自治体国際化協会助成金	1,999,633	0	1,999,633
受取その他の助成金	402,460	335,280	67,180
受取寄附金	[51,468]	[153,412]	[▲ 101,944]
受取寄附金	51,468	153,412	▲ 101,944
雑収益	[1,393,735]	[704,071]	[689,664]
受取利息	397	4,205	▲ 3,808
その他雑収益	1,393,338	699,866	693,472
経常収益計	74,464,805	63,162,161	11,302,644
(2) 経常費用			
事業費	[72,970,817]	[62,074,206]	[10,896,611]
役員報酬	5,882,400	5,859,600	22,800
給料手当	34,029,392	26,979,162	7,050,230
臨時雇賃金	6,656,513	5,793,233	863,280
福利厚生費	8,161,631	6,741,178	1,420,453
材料費	54,373	76,482	▲ 22,109
奨学金	1,021,553	1,068,344	▲ 46,791
旅費交通費	1,927,530	1,683,482	244,048
通信運搬費	661,201	721,753	▲ 60,552
減価償却費	422,975	294,085	128,890
消耗什器備品費	0	115,236	▲ 115,236
消耗品費	844,626	554,645	289,981
車両費	202,359	215,561	▲ 13,202
印刷製本費	1,868,033	301,112	1,566,921
光熱水費	1,862,875	1,832,755	30,120
リース料	150,822	150,822	0
使用料賃借料	4,052,276	3,762,193	290,083
災害保険料	135,530	123,464	12,066
報償費	1,623,921	1,596,273	27,648
租税公課	12,250	1,044,538	▲ 1,032,288
支払負担金	250,000	250,000	0
委託費	2,425,690	2,019,502	406,188

図書費	119,836	124,153	4,317
食糧費	270,176	465,539	195,363
雑費	334,855	301,094	33,761
管理費	[2,630,367]	[2,721,652]	[91,285]
役員報酬	369,600	403,400	33,800
給料手当	383,940	376,569	7,371
福利厚生費	107,503	102,570	4,933
会議費	3,390	32,198	28,808
旅費交通費	2,100	4,100	2,000
通信運搬費	6,305	12,732	6,427
減価償却費	0	317,520	317,520
消耗品費	1,506	1,335	171
印刷製本費	2,786	2,268	518
光熱水費	95,289	93,327	1,962
リース料	7,938	7,938	0
使用料賃借料	59,464	58,900	564
租税公課	0	52,262	52,262
支払負担金	100,000	100,000	0
委託費	1,301,400	977,400	324,000
交際費	67,746	60,323	7,423
雑費	121,400	118,810	2,590
経常費用計	75,601,184	64,795,858	10,805,326
評価損益等調整前当期経常増減額	1,136,379	1,633,697	497,318
基本財産評価損益等	1,301,300	0	1,301,300
投資有価証券評価損益等	4,990,949	0	4,990,949
評価損益等計	6,292,249	0	6,292,249
当期経常増減額	5,155,870	1,633,697	6,789,567
2. 経常外増減の部			
経常外収益			
受取寄附金	[69,642]	[69,607]	[35]
受取寄附金振替額	69,642	69,607	35
過年度損益修正益	[171,100]	[0]	[171,100]
過年度損益修正益	171,100	0	171,100
経常外収益計	240,742	69,607	171,135
経常外費用			
除却損失	[502,740]	[13,868]	[488,872]
什器備品除却損	0	13,868	13,868
ソフトウェア除却損	502,740	0	502,740
指定正味財産への修正振替額	[0]	[52,266,111]	[52,266,111]
指定正味財産への修正振替額	0	52,266,111	52,266,111
経常外費用計	502,740	52,279,979	51,777,239
当期経常外増減額	261,998	52,210,372	51,948,374
当期一般正味財産増減額	4,893,872	53,844,069	58,737,941
一般正味財産期首残高	218,832,282	272,676,351	53,844,069
一般正味財産期末残高	223,726,154	218,832,282	4,893,872
指定正味財産増減の部			
一般正味財産からの修正振替額	[0]	[52,266,111]	[52,266,111]
一般正味財産からの修正振替額	0	52,266,111	52,266,111
一般正味財産への振替額	[69,642]	[69,607]	[35]
一般正味財産への振替額	69,642	69,607	35
当期指定正味財産増減額	69,642	52,196,504	52,266,146
指定正味財産期首残高	152,196,504	100,000,000	52,196,504
指定正味財産期末残高	152,126,862	152,196,504	69,642
正味財産期末残高	375,853,016	371,028,786	4,824,230

IV 平成 29 年度事業計画

本協会は、「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」という長期ビジョンの下、「1 外国人市民の支援」、「2 行政・民間団体連携」、「3 グローバル人材育成」の3つの分野における事業を実施する。

1 外国人市民支援事業（25,122 千円） [2016 年度 26,136 千円]

(1) 多言語による生活情報の提供（1,095 千円） [2016 年度 1,104 千円]

日本語を十分に理解できない外国人市民に対して、地域生活において必要となる情報を多言語で様々な媒体により提供する。

① 外国人市民への情報提供

外国人市民向けに毎月、英語・中国語・韓国語・やさしいにほんごでメールによる情報提供を行う。また、あわせて印刷版もスペース等で配布する。

② ホームページによる広報

日本語・英語・中国語・韓国語・やさしいにほんごによる多言語ホームページによるリアルタイムな情報提供を行う。

(2) コミュニケーション支援事業（24,027 千円） [2016 年度 25,032 千円]

コミュニケーションに困難を感じている外国人市民に対して、地域社会で孤立することなく日本人と共生できるように支援を行う。

① 外国人相談

日本語・英語・中国語・韓国語・ベトナム語による外国人相談及び情報提供を八幡西区コムシティ及び小倉北区役所において行うとともに、専門家による法律、ビザ・入管関係、日常生活での悩みごとの無料専門相談会を毎月1回実施する。

② 市窓口等における電話通訳

区役所や市立小・中学校等北九州市の関係機関と日本語でのコミュニケーションが難しい外国人市民とのコミュニケーションを円滑に行うため、トリオフオン等を活用した電話通訳サービスを実施する。

③ 行政通訳派遣

外国人市民への行政サービスの手助けとして、区役所や学校、子育て支援機関等から要請があった場合、行政通訳者を派遣する。通訳者の登録については、より多言語の人材確保を図る。

④ 医療通訳派遣

外国人市民が安心して医療を受けられるように、病院からの依頼があった際に医療通訳者を病院に派遣する。また、利用の促進に向けた啓発・PR活動を強化し、登録病院の拡充に努める。

⑤ 外国人市民への防災支援

災害時に弱者となりやすい外国人支援のため、防災啓発や災害時通訳サポーターの拡充とフォローアップ研修を実施する。

⑥ 外国人子ども支援

多文化の子どもたちの日本語能力の向上と学習支援事業を実施するとともに、小・中学校

との協力体制の構築に向け協議を行う。また、公立学校の支援を受けることが困難な、中学卒業年齢を超えた青少年の日本語学習支援をあわせて行う。

⑦ 外国人生活者支援

地域で暮らす外国人を対象に、日本語の習得と生活情報の提供を目的とした日本語教室を実施する。あわせて、就労や社会参画を目的として、より学習者のニーズやレベルに合った教室も実施する。

⑧ 地域日本語教室との連携

市内の地域日本語教室との連携を密にして必要な支援を提供する。

2 行政・民間団体連携事業 (2,301 千円) [2016年度 2,314 千円]

*再掲事業の予算額は除く

(1) 民間団体の支援・連携推進事業 (2,301 千円) [2016年度 2,314 千円]

北九州地域の国際化及び多文化共生を推進するため、市民団体の活動支援や連携を図る。

① 北九州国際交流団体ネットワーク（キーネット）支援

キーネットの目的を達成するための活動を支援するため事務局として活動する。

② 民間団体の活動支援

本市の国際化及び多文化共生に貢献している民間団体の活動が、広く世間に評価されるように表彰事業に民間団体を推薦する。また、民間団体と連携・協働するとともに、民間団体が開催する事業の共催や後援、広報支援等を行う。

(2) 行政との連携推進事業

① 行政通訳派遣 (再掲)

② 外国人市民への防災支援 (再掲)

③ 多文化共生の人材づくり (再掲)

3 グローバル人材育成事業 (13,483 千円) [2016年度 14,274 千円]

(1) 国際理解教育の推進事業 (1,034 千円) [2016年度 716 千円]

異なるものを理解・尊重する社会的な土壌をつくるために、市民を対象にした国際理解教育を推進する。

① 国際理解教育講師の派遣・紹介

小・中学生や異文化について興味のある市民を対象に、世界の文化や習慣を体験的に学習してもらうため、外国人市民等を国際理解教育の講師として小・中学校、市民センター等に派遣する事業を福岡県国際交流センター・福岡よかトピア国際財団・北九州国際交流協会の協働事業として実施する。

② 国際交流員派遣

国際交流員を小学校や市民センター等に講師として派遣し、自国の文化等を紹介することにより市民の異文化理解を促進する。

③ 国際理解教育の推進

異文化理解を推進し多文化共生社会を推進するための事業の実施もしくは協力を行う。

(2) ホストファミリーの支援事業 (2,070 千円) [2016 年度 1,925 千円]

国際交流や異文化の体験を希望する家族をホストファミリーとして登録し、留学生等との交流の機会の提供や交流事業を実施する等、ホストファミリーの支援を行う。

① 留学生にこここ家族・ホームビジット

大学等に通う留学生とホストファミリーとの長期交流を支援する「留学生にこここ家族」を実施する。また、研修員や留学生等を家庭に招き、お互いの交流を通じて、相互理解と親睦を深めるホームビジットを実施する。

(3) 留学生等の支援事業 (2,956 千円) [2016 年度 3,260 千円]

市内の大学等に通う留学生に対して生活支援を行うとともに、留学生が日頃の考えを発表する機会を提供する。また、大連市出身又は大連市内の大学又は専門学校を卒業し、北九州市内の大学、短期大学等に留学している者に奨学金を支給する。

① 留学生への情報提供

新しく北九州に転入してきた留学生に対して、生活に必要な情報や協会の外国人支援情報等を提供する。また、留学生の日本での就職に向けた情報提供を行う。

② 留学生支援

市内の留学生等を対象にした中古自転車のあっせん事業を実施する。また、各大学の留学生担当者による意見交換のため、留学生関係機関連絡会議を実施する。

③ 関原北九州大連友好基金

大連市出身又は大連市内の大学又は専門学校を卒業し、北九州市内の大学、短期大学等に留学している者3名程度に奨学金(月額2万円)を支給する。また、大連市内の大学に在学中の中国人学生で日本語を学び、かつ、優秀な学力を有する者3名程度に、奨学金(月額500元)を支給する。

④ 留学生弁論大会

北九州市内在住などの留学生が感じたことを発表してもらい、留学生の日本語学習の意欲増進と、日本人が留学生を理解する一助とするため弁論大会を開催する。

(4) 青少年交流の促進事業 (1,744 千円) [2016 年度 1,184 千円]

市内の青少年が、将来グローバルに活躍できる人材となれるように、海外の青少年との相互交流を促進する。

① 仁川市との青少年相互派遣

青少年の育成のみならず、姉妹都市である仁川市との交流をより一層深めることを目的に、青少年を相互に派遣する事業を北九州市及び仁川観光公社と協働で行う。

(5) 多文化共生啓発事業 (1,834 千円) [2016 年度 1,479 千円]

地域における多文化共生の推進のために、市民に対して多文化共生の地域づくりについて啓発を行い、多文化共生について考える機会を提供する。

① 多文化共生啓発

多文化共生についてより深く理解し身近に感じてもらうため、市民や市民団体等に対し学習会や講座、イベントなどを通して、多文化共生の啓発を行う。

② 多文化共生の人材づくり

多文化共生を担う人材の育成を行う事業を「北九州ひとみらいプレイス」において実施する。

(6) 市民ボランティアの育成事業 (25 千円) [2016 年度 25 千円]

北九州地域の国際交流や多文化共生を進めるための協力者として、その能力を十分発揮できるように、市民ボランティアの育成を図る。

① ボランティア育成講座の実施

協会事業をサポートするボランティアや、国際交流や多文化共生事業に関係する市民ボランティアの能力を向上させるため、講習会等を実施し、活動のための支援を行う。

(7) 外国人による地域づくり担い手育成事業 (3,820 千円) [2016 年度 5,685 千円]

地域連携コーディネーターを置き、外国人市民の中から多文化共生の担い手となる人材を発掘、育成する事業を実施する。実施に当たっては、日本語教育担当コーディネーター、留学生支援担当者、コミュニティ通訳派遣コーディネーター、地域日本語教室との連携を図る。また、多文化共生理解促進を図るため、地域の市民センター等への外国人人材の派遣を実施する。

① 多文化共生の担い手のための研修会

外国人市民へのヒアリング等から人選した、多文化共生キーパーソン外国人市民人材に対し、それぞれの個性を活かして社会参画するための研修会を実施する。また、在住外国人同士の交流や、子育て中の日本人と外国人の交流を促進する。

② 多文化共生学習への在住外国人派遣

コミュニケーション能力や個人の持つスキルが、日本人市民に対する多文化共生啓発に十分生かせると思われる外国人人材をリスト化して登録し、地域の市民センターや学校等に派遣する事業を実施する。あわせて、市民センターや学校等への多文化共生理解講座やイベントの実施に向けたレクチャーを行い、多文化共生の担い手としての外国人市民活躍の機会を創出する。

V 平成 29 年度予算

1 収支予算書

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日 (単位：千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[2,331]	[4,091]	[▲ 1,760]
基本財産受取利息	2,331	4,091	▲ 1,760
特定資産運用益	[18]	[900]	[▲ 882]
特定資産受取利息	18	900	▲ 882
受取会費	[700]	[700]	[0]
賛助会員受取会費	700	700	0
事業収益	[1,576]	[2,913]	[▲ 1,337]
外国人市民への防災支援受託事業収益	347	404	▲ 57
コミュニティ通訳等派遣受託事業収益	819	999	▲ 180
人材育成受託事業収益	410	400	10
中国帰国者支援受託事業収益	0	1,110	▲ 1,110
受取補助金等	[56,489]	[66,450]	[▲ 9,961]
受取北九州市補助金	56,489	64,450	▲ 7,961
受取自治体国際化協会助成金	0	2,000	▲ 2,000
受取寄附金	[400]	[400]	[0]
受取寄附金	400	400	0
雑収	[991]	[694]	[▲ 297]
受取利息	1	4	▲ 3
その他雑収益	990	690	300
経常収益計	62,505	76,148	▲ 13,643
(2) 経常費用			
事業費	[72,170]	[77,010]	[▲ 4,840]
役員報酬	5,917	5,882	35
給料手当	34,784	36,481	▲ 1,697
臨時雇賃金	8,326	8,089	237
福利厚生費	8,556	8,469	87
旅費交通費	1,667	2,914	▲ 1,247
通信運搬費	752	688	64
減価償却費	199	281	▲ 82
消耗什器備品費	180	210	▲ 30
消耗品費	475	936	▲ 461
材料費	90	145	▲ 55
修繕費	50	50	0
車両費	234	259	▲ 25
印刷製本費	475	931	▲ 456
光熱水料費	1,890	1,959	▲ 69
リース料	143	143	0
使用料賃借料	3,989	3,693	296
災害保険料	128	118	10
報償費	1,451	2,900	▲ 1,449

租 税 公 課	15	18	3
奨 学 金 費	877	1,100	223
食 糧 費	452	140	312
支 払 負 担 金 費	250	250	0
函 書 託 費	60	50	10
委 託 費	975	862	113
雑 費	235	442	207
管 理 費	[2,334]	[2,906]	[572]
役 員 報 酬	436	435	1
給 料 手 当	397	393	4
福 利 厚 生 費	113	111	2
会 議 費	40	50	10
旅 交 通 費	8	10	2
通 信 運 搬 費	15	15	0
減 価 償 却 費	0	318	318
消 耗 品 費	5	6	1
印 刷 製 本 費	3	3	0
光 熱 水 料 費	97	99	2
リ 一 入 料	16	16	0
使 用 料 賃 借 料	459	163	296
交 際 費	70	75	5
支 払 負 担 金 費	100	100	0
委 託 費	454	977	523
雑 費	121	135	14
経 常 費 用 計	74,504	79,916	5,412
当 期 経 常 増 減 額	11,999	3,768	8,231
2. 経常外増減の部			
経常外収益			
受取寄附金等振替額	11,800	2,126	9,674
経常外収益計	11,800	2,126	9,674
経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	11,800	2,126	9,674
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	199	1,642	1,443
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	217,190	218,832	1,642
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	216,991	217,190	199
指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	11,800	2,126	9,674
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	150,071	152,196	2,125
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	138,271	150,070	11,799
正 味 財 産 期 末 残 高	355,262	367,260	11,998

前年度の一般正味財産期首残高は、前々年度の決算額で調整した金額である。

役員名簿等

1 役員名簿

平成 29 年 7 月 1 日現在

役職名	氏名	備考
理事長	高城 壽雄	(公財)北九州国際交流協会理事長
専務理事	石松 秀喜	(公財)北九州国際交流協会専務理事
理事	池本 綾女	副都心黒崎開発推進会議副幹事長
〃	植村 吏香	独立行政法人国際協力機構九州国際センター所長
〃	廣澤 洋子	北九州国際交流団体ネットワーク顧問
監事	有田 徹也	(株)福岡銀行取締役常務執行役員北九州本部長
〃	小田 真由美	北九州市企画調整局国際部長

2 市との特命随意契約の状況(平成 28 年度実績)

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額(千円)	特命理由	再委託の業務内容	委託金額(千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の場合その理由
外国人市民の防災支援事業	339	参加者の有無を確認する公募を実施した結果、当該業務を履行可能なものが 1 者しかいないことが確認されたため。	再委託なし				
中国残留邦人等日本語教室及び交流事業	1,237	中国残留邦人等に対する日本語教室等の実施経験を有し、八幡地区に居住する多くの中国残留邦人等の継続的な通学が見込める西部地区での教室開催が唯一可能な団体であるため。	再委託なし				
グローバル人材育成事業	486	北九州ひとみらいプレイスを構成する各施設との連携事業の一環であり、プレイスに所属し、国際関連団体とのネットワークを持つ組織でないと実効性のある履行が期待できないため。	再委託なし				
合計	2,062		合計	0			